

# 学友諸君へ訴える！ サークルの現状を！

中村君虐殺事件直後の当局は、新嘗行爲の中にある教授優待の名文同に反し、又我々学生の抗議行動を恐れ、今や目撃化しつつあるロックアウト暴動を全館に渡って突如実施した。ロックアウト解除の後も政治活動の拠点になるという理由で、我々サークル人の心臓ともいえるサークル室及び学生自治活動に欠く事のみ求まり幹事会室(電気科幹事会室は除く)を引き続きロックアウトしている。

我々サークル人は、その当局の行爲に対し再三再四木村教授と話し合いの場を持ち、サークル室、幹事会室を解放する様抗議して来たけれども、常に二時的客観情勢によりとりつ理由のみで、我々の要求をはねのけ続けている。又、教授会執行部の一員である吉村(物理)、江坂(建築)との接近を持つべく彼等の同意を得た上で、日時まで設定して来たにも拘らず、教授会執行部としては、サークルの必要性を認め、又大いに助成する積りではあるが、その一貫としてまだ具体的な形が出ていないので、現状では諸君と話ししても無意味だ。という反答のみで、木村が拒否の解答を提示してきた。

口先ではサークルの必要性を痛感するといいつながら、当局は暗々裏々に各サークル(特に文化サークル及び科学サークル)に、弾圧の手を強めて来ているのは明白な事実である。又過去幾度かのロックアウトがなされたが、これは全て青曜学部長個人の権限で行なわれたものであり、教授会は現状に於ては、全く形骸化している。その上、肩たる各教授はこの事実をいかに考え、行動するのか。現実の彼等は古田体制のどエロと化してしまつたのだ。自由主義主張を抑えてまでも、ただ×三の爲にと、古田に追随している。そのどエロの講義を受け、話を行なつて居るが、日大株式会社の一佃の商品たる我々学生なのだ。

この不満は、やがていつの日か、明日にも爆発することである。

- ・我々サークル人は、全ての学友に訴える！
- ・各教授の無能化に弾劾の手を！
- ・目に見えなれど暴動に弾劾の手を！
- ・全ての学友諸君、サークル活動に参加しよう！

(発行責任者 サークル地下集団)